

くらしを支える水と未来

国立学園小学校四年桜組

田中 夢乃

今年の夏、水温や気温が高すぎて弟の幼稚園ではプールが中止になりました。楽しみにしていた分、弟はとてもかきりしていましたが、水の問題を勉強している私は、そもそもプールの時間があることは、すばいことなのだと気付きました。途上国では安全な飲み水さえ手に入らず、五さいの誕生日をむかえることができない子がたくさんいて、国によ

うは五人に一人が五さいまで生きられません。菌やウイルス、目に見えない虫などが入ったまよの水を飲んで、下痢で命をおとすそうです。先週弟は五さいになりましたが、もし弟に安全できれいな水を飲ませることができないう、と考えたら、胸が苦しくなりました。きれいな水が使えるということは、命を守ることだと感じました。もうと水について知らなければならぬと思つた私は、水が安全に届くまでのことを調

へました。家の蛇口から出る水はどこから来るのか、東京都の浄水場の一覧から調べると、東村山浄水場から配水管と給水管を通って、私の家にたどりつくことがかりました。そこで、よく浄水場へ行くと、浄水場の仕組みが書かれてある資料をもらいました。浄水場に取り入れられた水は、何だん階も手間をかけて処理されていく、と書かれています。私がきょうみを持ってたのは、微生物が活やくしている生物活性炭吸着地の部分です。私は生物のところが好きなので、微生物を見られる講座をやった。こいる下水道館へ行き、顕微鏡で微生物を見ました。その日はクマムシやスピロストマムを見ることかできて、こんなに小さな目に見えるえないほどの微生物が汚れを食べてくれることにおびろきました。浄水場でも微生物はアモニニアなどを分解していること知って、生き物の力はすごいと感動しました。私たちは目に見えないほど小さな細菌や原生動物、後生動物に助けられています。こうして何だん階

も処理されて、消毒されやっとな届く水です。
たぐさんの手間をかけて届けてくれているこ
とを、調べれば調べるほど、水は貴重な資源
だと感じました。
水を守るために、私には何ができるかを考
えました。水は海や川から雲になっ、て、循環
しています。水の環境を守るためには、その
循環全体を守ることも必要だと分かりました。
水を作る森を守り、川や湖、沼を汚さない、
温暖化をすすめないなど、水を守ることは地
球を守ることに同じです。私は家で食事の後
片付けを任されていますが、お皿の汚れや使
た油の残りは古い新聞紙でふきとったり、水
や洗ざいを使いすぎないように行動していま
す。そして買い物をする時も環境にやさしい
商品を選んだり、Rを実行するなど、毎日
の中でできることを続けます。
私たちの生活は水に支えられています。今
日使う水のことだけでなく、未来の水につい
ても考えることが大切です。そして世界中の

人が同いように安全な水とくらせると良いな
と思っ
ています。私は四年生ですが、できる
ことを考え続けて、みんなにも伝えていきま
す。